

2024年8月22日
株式会社アイスタット
News Release

株式会社アイスタット マンスリーレポート
- マイナ保険証に関するアンケート -
(調査期間：2024年8月6日)

2024年12月2日から現行の健康保険証は新規発行されなくなり、医療機関・薬局を利用する際はマイナ保険証（健康保険証とマイナンバーカードの一体化）での利用となります。（12月2日時点で有効な健康保険証は、最大1年間有効とする経過措置あり）

株式会社アイスタット（本社：東京都杉並区、代表取締役社長：志賀保夫）は、施行直前のマイナ保険証の「利用実態」および「利用者が増加するためには何を改善すれば良いか」を調べる目的として、マイナ保険証に関する調査を実施しました。

本調査は、業界最大規模のモニター数を誇るセルフ型アンケートツール「Freeasy」を提供するアイブリッジ株式会社（本社：大阪府大阪市）の会員 20 歳～69 歳の有職者を対象に調査を実施しました。

調査結果サマリー

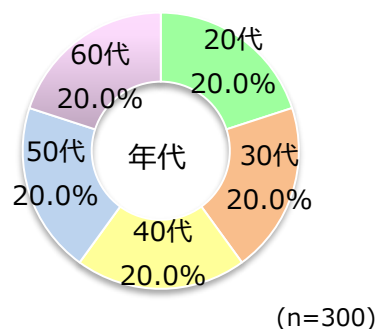
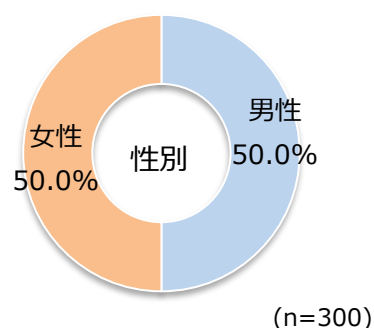
- ✔ 今までにマイナ保険証を利用したことがある人は24.3%！「20代」「男性」で多い！
- ✔ 次に医療機関・薬局へ行く時、マイナ保険証を利用すると思っている人は28.3%！
- ✔ 定期的に医療機関・薬局にかかっている人はマイナ保険証の利用意向が高い！
- ✔ マイナ保険証のメリットを理解している人は31.3%！
- ✔ 既に開始しているマイナ保険証について賛成の人は28.3%！
- ✔ 2024年12月2日からの健康保険証が新規発行されなくなる制度に賛成の人は26.3%！
- ✔ 医療機関・薬局でのマイナ保険証の操作が簡単または簡単そうに見えると思う人は30.3%！
- ✔ マイナ保険証で個人情報の洩れや悪用されるといった不安がある人は85.0%！
- ✔ マイナンバーカードを常に持ち歩いている人は35.0%！
- ✔ 医療機関・薬局にかかる時、マイナンバーカードを用意するのが面倒な人は73.0%！
- ✔ マイナ保険証の利用者増加のためには、医療機関・薬局でのマイナ保険証の操作・手続きは「簡単だ」または「簡単そうに見える」と思わせること！

調査概要

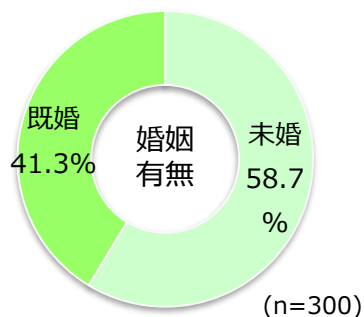
形式	Webアンケート形式
調査期間	2024年8月6日
回答者	セルフ型アンケートツールFreeasyに登録している20歳～69歳・有職者の会員 300人
調査機関	株式会社アイスタット

【回答者属性】

全体		300名	100.0%
性別	男性	150名	50.0%
	女性	150名	50.0%
年代	20代	60名	20.0%
	30代	60名	20.0%
	40代	60名	20.0%
	50代	60名	20.0%
	60代	60名	20.0%
有 婚 無 姻	未婚	176名	58.7%
	既婚	124名	41.3%
居 住 地	北海道・東北地方	28名	9.3%
	関東地方	134名	44.7%
	中部地方	42名	14.0%
	近畿地方	52名	17.3%
	四国・中国・九州地方・沖縄	44名	14.7%
職 業	会社員(正社員)	178名	59.3%
	会社員(契約・派遣社員)	33名	11.0%
	経営者・役員	2名	0.7%
	公務員(教職員を除く)	10名	3.3%
	自営業	37名	12.3%
	自由業	16名	5.3%
	医師・医療関係者	10名	3.3%
	その他	14名	4.7%



平均年齢 (45.0才)



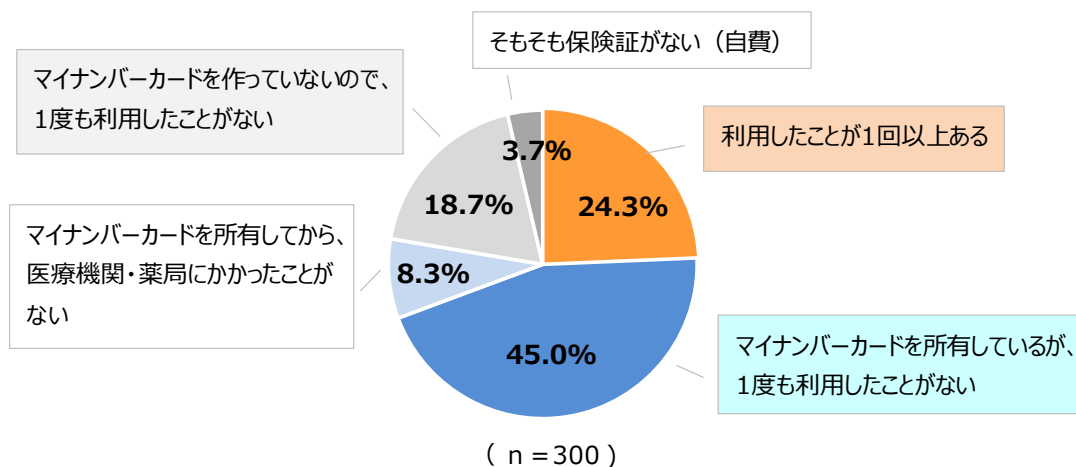
主な分析結果

今までにマイナ保険証を利用したことがある人は24.3%！「20代」「男性」が多い！

マイナ保険証を利用したことがあるかを聞いたところ、「利用したことが1回以上ある」は24.3%、「マイナンバーカードを所有しているが1度も利用したことがない」は45.0%、残りの30.7%はマイナ保険証を利用することができない状況が占めた。この回答から、4人に1人が利用していることが明らかとなった。また、「マイナンバーカードを作っていない人」が18.7%いることも明らかとなり、マイナ保険証の浸透までの道のりは長いことが見受けられた。

属性別にみると、「利用あり」を回答した人は「20代」「男性」「関東地方」ほど多かった。

【Q1】 マイナ保険証（健康保険証とマイナンバーカードの一体化）が始まっています。あなたは、マイナ保険証を利用したことがありますか。（回答は1つ）



(横%表)

		マイナ保険証の利用状況					n
		マイナンバーカード所有者			マイナンバーカードを作っていないので、利用したことがない	そもそも保険証がない（自費）	
		利用したことが1回以上ある	1度も利用したことがない	医療機関・薬局にかかったことがない			
全体		24.3	45.0	8.3	18.7	3.7	300
年代	20代	30.0	31.7	13.3	13.3	11.7	60
	30代	26.7	51.7	11.7	10.0	0.0	60
	40代	23.3	41.7	8.3	23.3	3.3	60
	50代	20.0	43.3	3.3	30.0	3.3	60
	60代	21.7	56.7	5.0	16.7	0.0	60
性別	男性	24.7	44.7	8.0	18.0	4.7	150
	女性	24.0	45.3	8.7	19.3	2.7	150
居住地	北海道・東北地方	25.0	35.7	10.7	17.9	10.7	28
	関東地方	28.4	40.3	8.2	17.9	5.2	134
	中部地方	19.0	66.7	2.4	11.9	0.0	42
	近畿地方	23.1	42.3	9.6	25.0	0.0	52
	四国・中国・九州地方・沖縄	18.2	47.7	11.4	20.5	2.3	44

各項目を縦に見て最大値に彩色

n = 30未満は参考値

▼ 独立性の検定（カイニ乗検定）

クラメル連関係数 ↓

利用状況との関係	p 値	判定	相関
年代	0.004	[**]	0.171
性別	0.917	[]	0.056
居住地	0.177	[]	0.132

独立性の検定

クロス集計を行った結果が、母集団においても関連性があるといえるかを調べる。判定[*]は、母集団に関連性があるといえる。

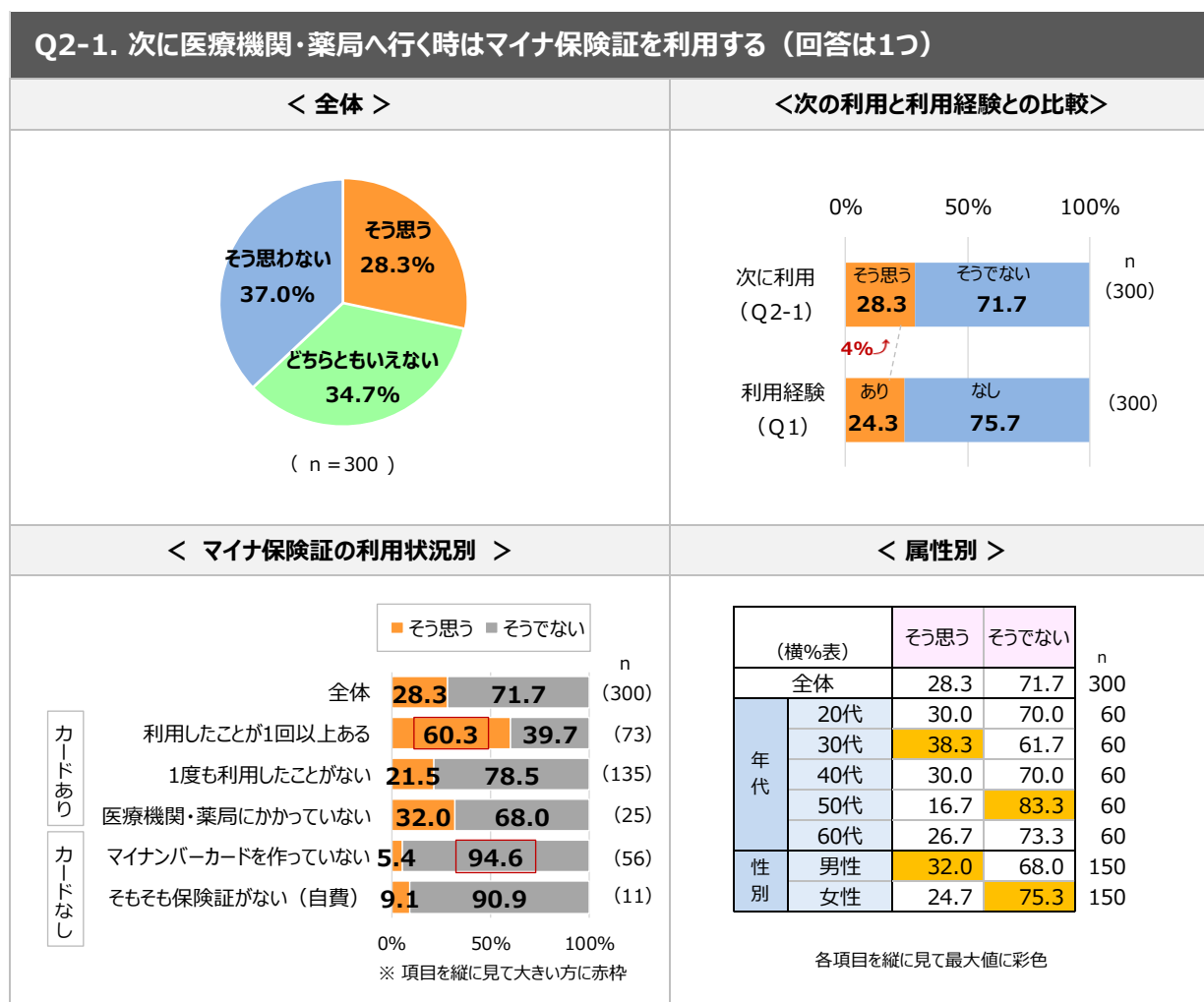
クラメル連関係数（相関）

行項目と列項目の関連の強さを示す指標で、0.1以上は2項目間に相関（関連）があるといえる。

次に医療機関・薬局へ行く時、マイナ保険証を利用している人は28.3%！

次に医療機関・薬局へ行く時はマイナ保険証を利用するかを聞いたところ、「そう思う（利用）」は28.3%、「そうでない（どちらとも+そう思わない）」は71.7%で、「そう思う」が下回った。この結果と「Q1 利用経験」の割合を比較してみると、「次に利用すると思う」は28.3%、「利用経験あり」は24.3%で4%上昇したものの、上昇率がさほど伸びていない結果は今後の課題とうかがえた。

マイナ保険証の利用状況との関連をみると、「次に利用すると思う人」は「利用したことが1回以上ある」ほど多く（60.3%）、「そうでない人」は「マイナンバーカードを作っていない」が多い（94.6%）、妥当な結果であった。ただし、「利用したことが1回以上ある」にも関わらず次の利用は「そうでない」を回答した人が39.7%いる結果は留意されたい。

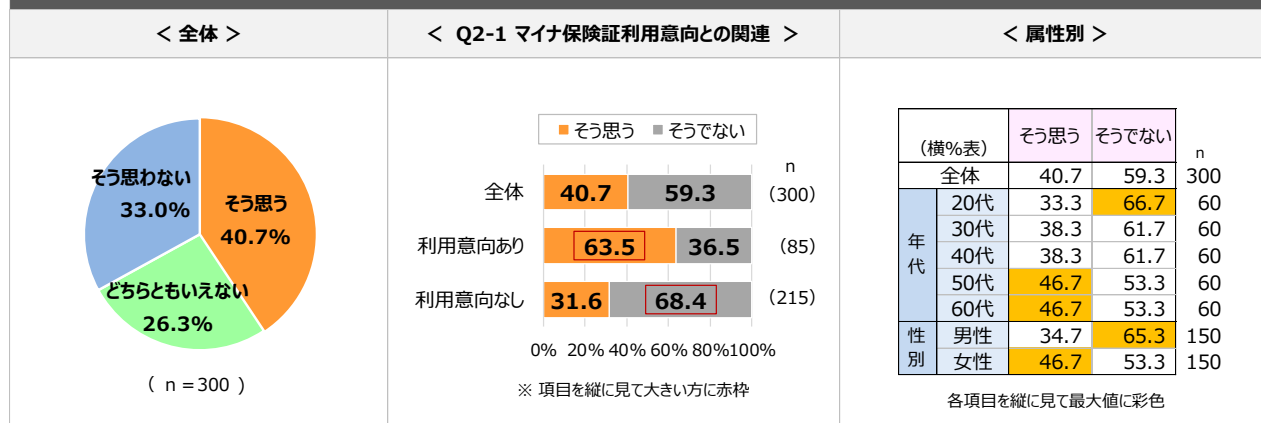


定期的に医療機関・薬局にかかっている人はマイナ保険証の利用意向が高い！

定期的に医療機関・薬局にかかっているかを聞いたところ、「そう思う」は40.7%、「そうでない（どちらとも+そう思わない）」は59.3%で、「そう思う」が下回った。

マイナ保険証利用意向との関連をみると、「定期的にかかっている人」は「利用意向あり」の方が多く（63.5%）、「そうでない人」は「利用意向なし」の方が多い（68.4%）、妥当な結果であった。

Q2-2. 定期的に医療機関・薬局にかかっている（回答は1つ）

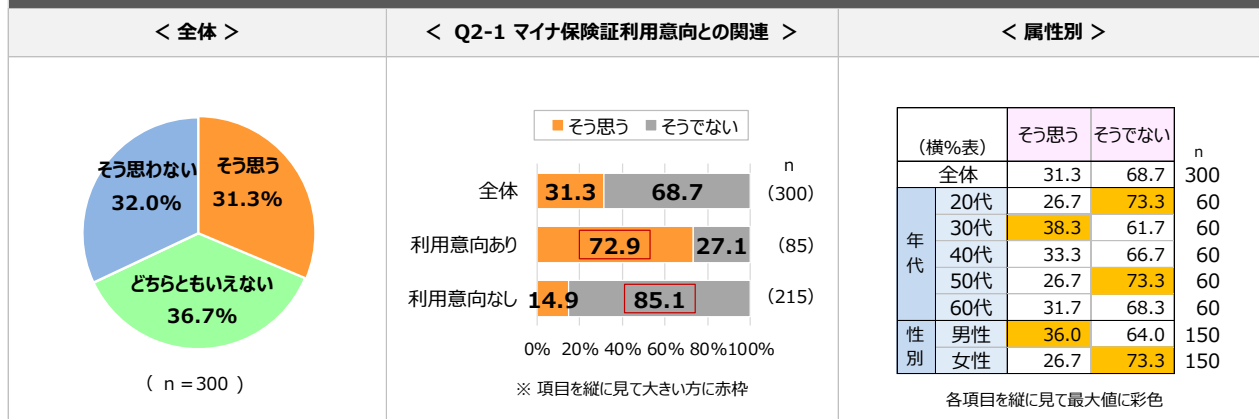


マイナ保険証のメリットを理解している人は31.3%！

マイナ保険証のメリットを理解しているかを聞いたところ、「そう思う（理解している）」は31.3%、「そうでない（どちらとも+そう思わない）」は68.7%で、「そう思う」が下回った。

マイナ保険証利用意向との関連をみると、「理解している人」は「利用意向あり」の方が多く（72.9%）、「そうでない人」は「利用意向なし」の方が多い（85.1%）、妥当な結果であった。

Q2-3. マイナ保険証のメリットを理解している（回答は1つ）

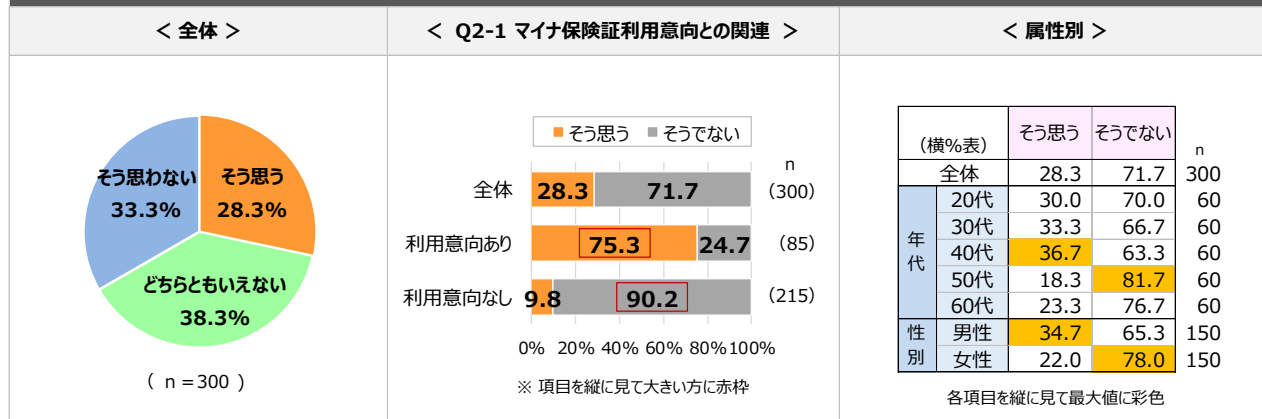


既に開始しているマイナ保険証について賛成の人は28.3%！

既に開始しているマイナ保険証について賛成であるかを聞いたところ、「そう思う（賛成）」は28.3%、「そうでない（どちらとも+そう思わない）」は71.7%で、「そう思う」が下回った。

マイナ保険証利用意向との関連をみると、賛成の人は「利用意向あり」の方が多く（75.3%）、「そうでない人」は「利用意向なし」の方が多く（90.2%）、妥当な結果であった。

Q2-4. 既に開始しているマイナ保険証について賛成である（回答は1つ）

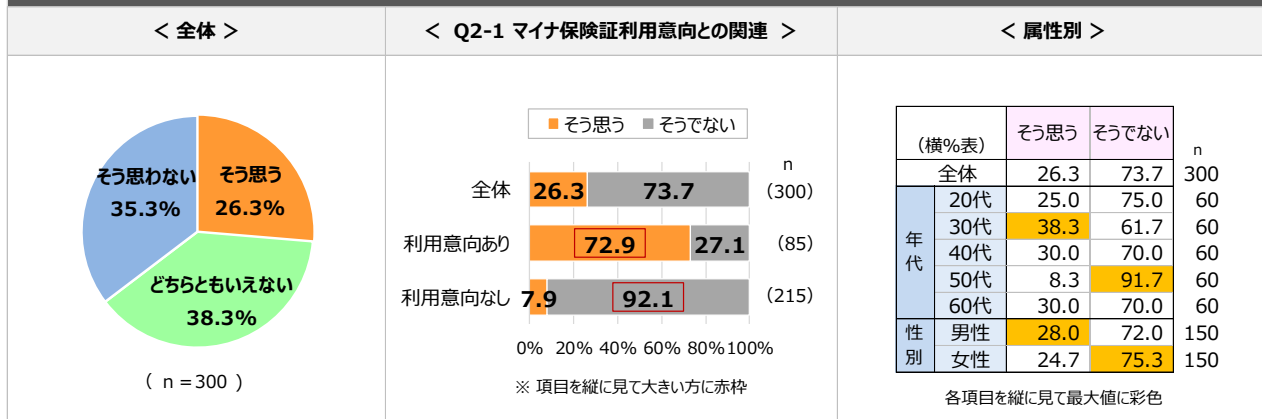


2024年12月2日からの健康保険証が新規発行されなくなる制度に賛成の人は26.3%！

2024年12月2日から現行の健康保険証が新規発行されなくなる制度に賛成であるかを聞いたところ、「そう思う（賛成）」は26.3%、「そうでない（どちらとも+そう思わない）」は73.7%で、「そう思う」が下回った。この結果と 前設問「Q2-4 開始しているマイナ保険証に賛成の人（28.3%）」を比較すると賛成の人が2.0%減る結果であった。

マイナ保険証利用意向との関連をみると、「賛成の人」は「利用意向あり」の方が多く（72.9%）、「そうでない人」は「利用意向なし」の方が多く（92.1%）、妥当な結果であった。

Q2-5. 2024年12月2日から現行の健康保険証は新規発行されなくなる制度に賛成である（回答は1つ）

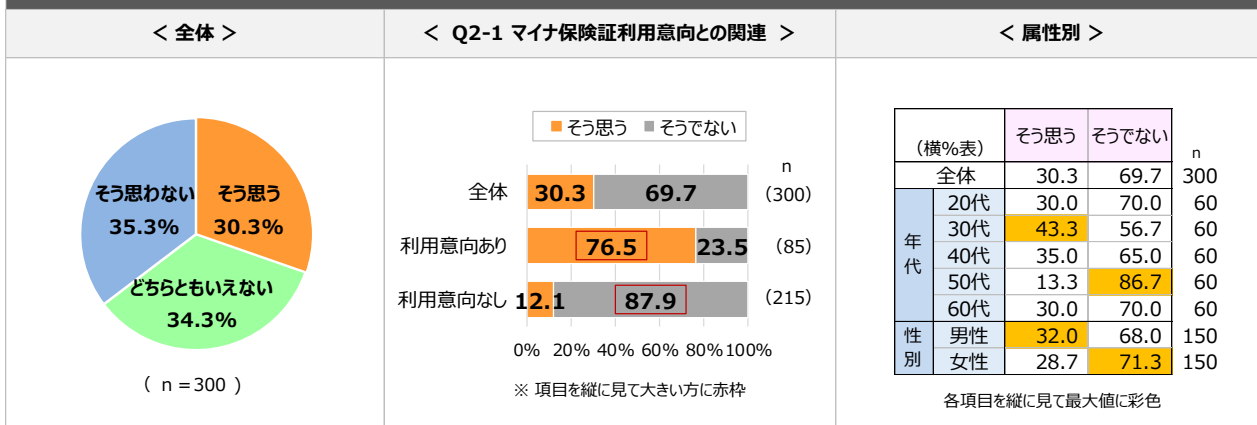


医療機関・薬局でのマイナ保険証の操作が簡単または簡単そうに見えると思う人は30.3%！

医療機関・薬局でのマイナ保険証の操作・手続きは簡単または簡単そうに見えるかを聞いたところ、「そう思う（簡単）」は30.3%、「そうでない（どちらとも+そう思わない）」は69.7%で、「そう思う」が下回った。

マイナ保険証利用意向との関連をみると、「利用意向あり」を回答した人の「簡単と思う」割合は76.5%であった。一方、「利用意向なし」だった人の「簡単に見える」の割合は12.1%と圧倒的に低く、操作・手続きの簡単さがマイナ保険証の利用に影響していることがうかがえた。

Q2-6. 医療機関・薬局でのマイナ保険証の操作・手続きは「簡単だ」または「簡単そうに見える」（回答は1つ）

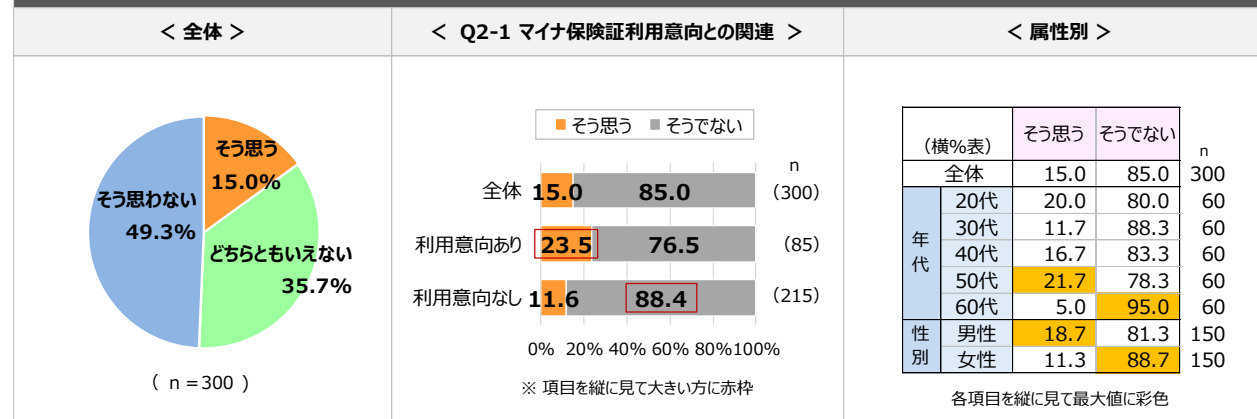


マイナ保険証で個人情報の洩れや悪用されるといった不安がある人は85.0%！

マイナ保険証で個人情報の洩れや悪用されるといった不安がないかどうかを聞いたところ、「そう思う（不安なし）」は15.0%、「そうでない（どちらとも+そう思わない）」は85.0%で、「そう思う（不安なし）」が下回った。

マイナ保険証利用意向との関連をみると、「そう思う（不安なし）」を回答した人は「利用意向あり」の方が多く（23.5%）、「そうでない（不安）」を回答した人は「利用意向なし」の方が多い（88.4%）、妥当な結果であった。

Q2-7. マイナ保険証は、個人情報の洩れや悪用されるのではないかと不安を生じない（回答は1つ）

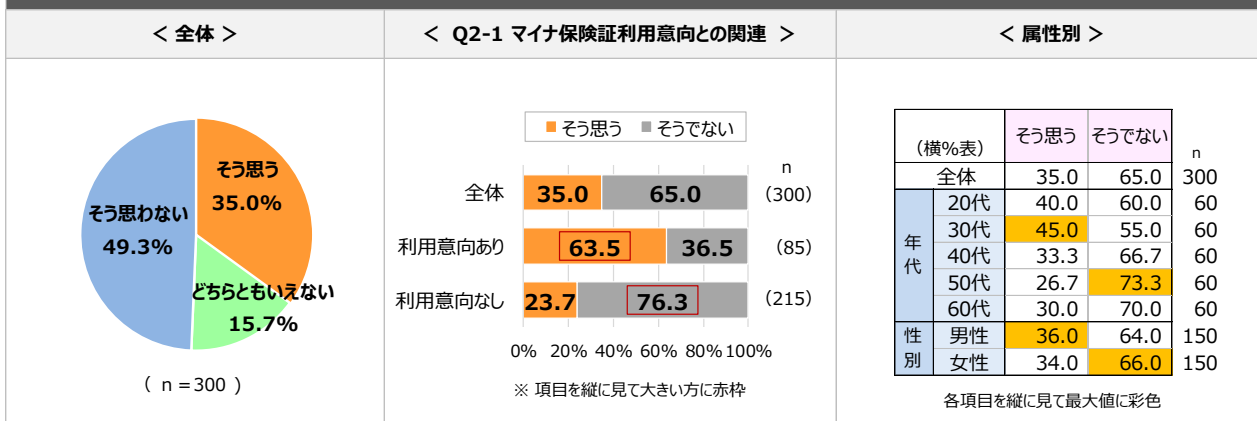


マイナンバーカードを常に持ち歩いている人は35.0%！

マイナンバーカードを常に持ち歩いているかを聞いたところ、「そう思う（簡単）」は35.0%、「そうでない（どちらとも+そう思わない）」は65.0%で、「そう思う」が下回った。

マイナ保険証利用意向との関連をみると、「持ち歩いている」を回答した人は「利用意向あり」の方が多く（63.5%）、「そうでない人」を回答した人は「利用意向なし」の方が多い（76.3%）、妥当な結果であった。

Q2-8. マイナンバーカードを常に持ち歩いている（回答は1つ）

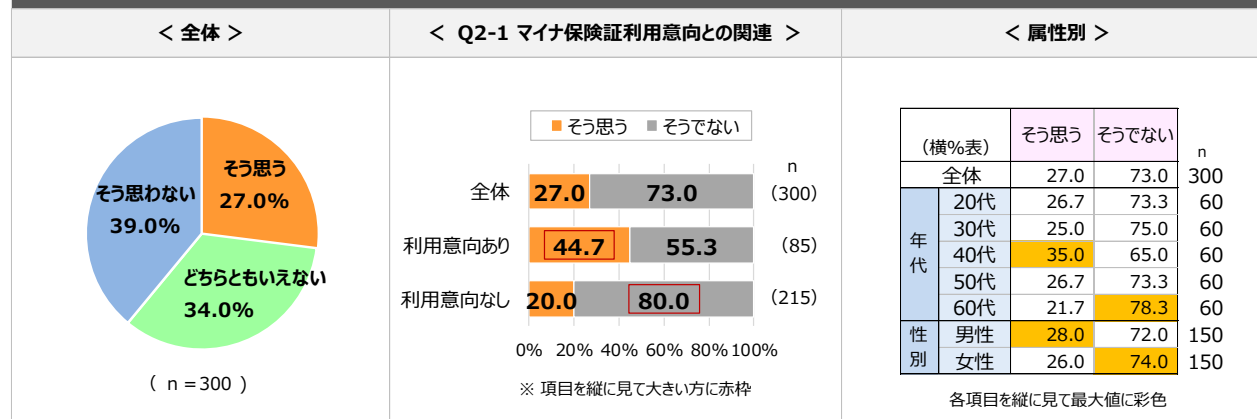


医療機関・薬局にかかる時、マイナンバーカードを用意するのが面倒な人は73.0%！

当初、マイナンバーカードは「他人に見せないようにし、大切に保管しましょう」と言われ、今でも遵守している人が多いはず。そこで、医療機関・薬局にかかる時、マイナンバーカードを用意するのが面倒かどうかを聞いたところ、「そう思う（面倒でない）」は27.0%、「そうでない（どちらとも+そう思わない）」は73.0%で、「そう思う」が下回った。

マイナ保険証利用意向との関連をみると、「面倒でない」と思っている人は、「利用意向あり」の方が多く（44.7%）、「そうでない人」は「利用意向なし」の方が多い（80.0%）、妥当な結果であった。

Q2-9. 医療機関・薬局にかかる時、マイナンバーカードを用意するのは面倒でない（回答は1つ）



今月のレベルアップ↑ CS分析

～マイナ保険証の利用者を増やすために改善することは？～

CS分析は、各説明変数が目的変数にどのくらいの影響を与えているかを分析することができます。
重要（相関係数が高い）で満足度が低い要素を改善します。CS分析に最適なデータは5段階評価です。
見る視点が「割合」「平均値」により、結論が異なることがあります。
今回は、いかに満足の人を増やすか、不満の人を減らすかを考慮するため、「割合」を適用します。

目的変数	説明変数	5点 4点 3点 2点 1点						平均	標準偏差
		全体 (n)	とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	まったく そう思わない		
目的変数	次に医療機関・薬局へ行く時はマイナ保険証を利用する	300	11.7%	16.7%	34.7%	18.0%	19.0%	2.84	1.25
	既に開始しているマイナ保険証について賛成である	300	10.3%	18.0%	38.3%	14.0%	19.3%	2.86	1.22
	2024年12月2日から現行の健康保険証は新規発行されなくなる制度に賛成である	300	10.3%	16.0%	38.3%	14.3%	21.0%	2.80	1.23
	マイナ保険証のメリットを理解している	300	9.0%	22.3%	36.7%	18.7%	13.3%	2.95	1.14
	医療機関・薬局でのマイナ保険証の操作・手続きは「簡単だ」または「簡単そうに見える」	300	8.0%	22.3%	34.3%	18.7%	16.7%	2.86	1.18
	マイナ保険証は、個人情報の洩れや悪用されるのではないかと不安を生じない	300	7.7%	7.3%	35.7%	27.0%	22.3%	2.51	1.14
	定期的に医療機関・薬局にかかっている	300	19.7%	21.0%	26.3%	13.0%	20.0%	3.07	1.39
	マイナンバーカードを常に持ち歩いている	300	18.3%	16.7%	15.7%	12.0%	37.3%	2.67	1.55
	医療機関・薬局にかかる時、マイナンバーカードを用意するのが面倒でない	300	9.0%	18.0%	34.0%	23.3%	15.7%	2.81	1.17

改善度指数表

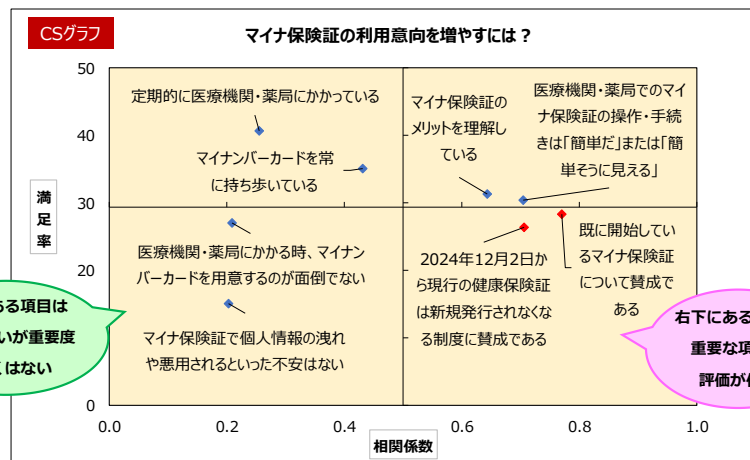
各項目 n = 300

目的変数に大きく寄与

マイナ保険証の利用意向を増やすためには？	満足率	相関係数	改善度指数	
2024年12月2日から現行の健康保険証は新規発行されなくなる制度に賛成である	26.3	0.706	7.4	改善
既に開始しているマイナ保険証について賛成である	28.3	0.770	6.6	改善
医療機関・薬局でのマイナ保険証の操作・手続きは「簡単だ」または「簡単そうに見える」	30.3	0.704	3.5	
マイナ保険証で個人情報の洩れや悪用されるといった不安はない	15.0	0.203	3.4	
マイナ保険証のメリットを理解している	31.3	0.643	1.6	
医療機関・薬局にかかる時、マイナンバーカードを用意するのが面倒でない	27.0	0.209	-4.0	
マイナンバーカードを常に持ち歩いている	35.0	0.430	-5.6	
定期的に医療機関・薬局にかかっている	40.7	0.254	-15.6	
平均	29.3	0.490		

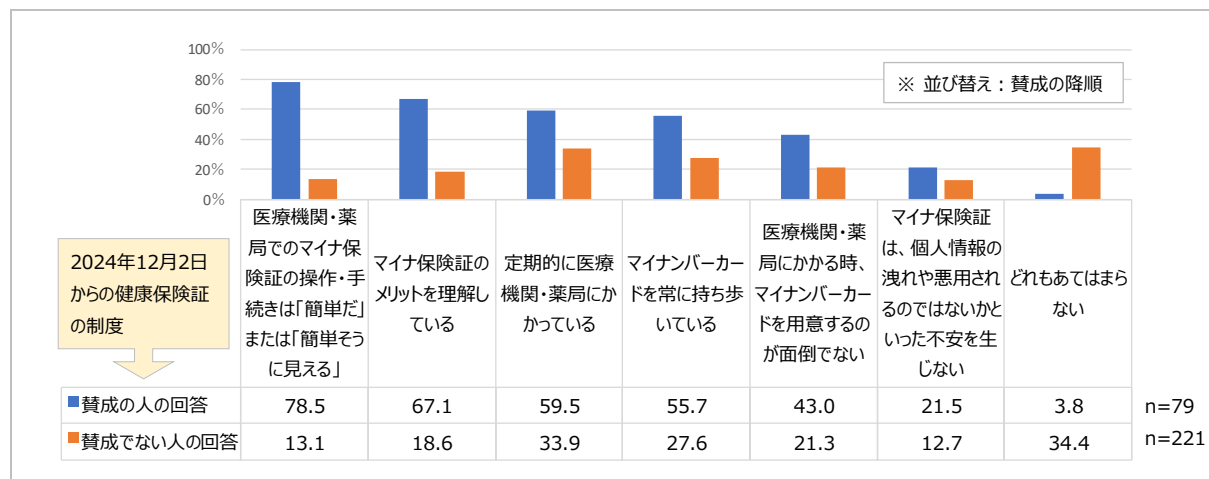
目的変数に大きく
寄与していない

10以上 即改善
5以上 改善
0以下 改善不要



＜結論＞
マイナ保険証の利用
者を増やすためには、
賛成と思う人が増え
るように改善するこ
とが必要

～ 賛成を増やすためには？～



CS分析「改善度指数表」

各項目 n = 300

「2024年12月2日からの健康保険証の制度に賛成」を増やすには？	満足率	相関係数	改善度指数	
医療機関・薬局でのマイナ保険証の操作・手続きは「簡単だ」または「簡単そうに見える」	30.3	0.721	8.0	要改善
マイナ保険証は、個人情報の洩れや悪用されるのではないかと不安はない	15.0	0.206	4.6	
マイナ保険証のメリットを理解している	31.3	0.515	2.6	
医療機関・薬局にかかる時、マイナンバーカードを用意するのが面倒でない	27.0	0.194	-2.1	
マイナンバーカードを常に持ち歩いている	35.0	0.341	-3.6	
定期的に医療機関・薬局にかかっている	40.7	0.198	-12.4	

<結論>

医療機関・薬局でのマイナ保険証の操作・手続きは「簡単だ」または「簡単そうに見える」と思わせること！

【参考資料】

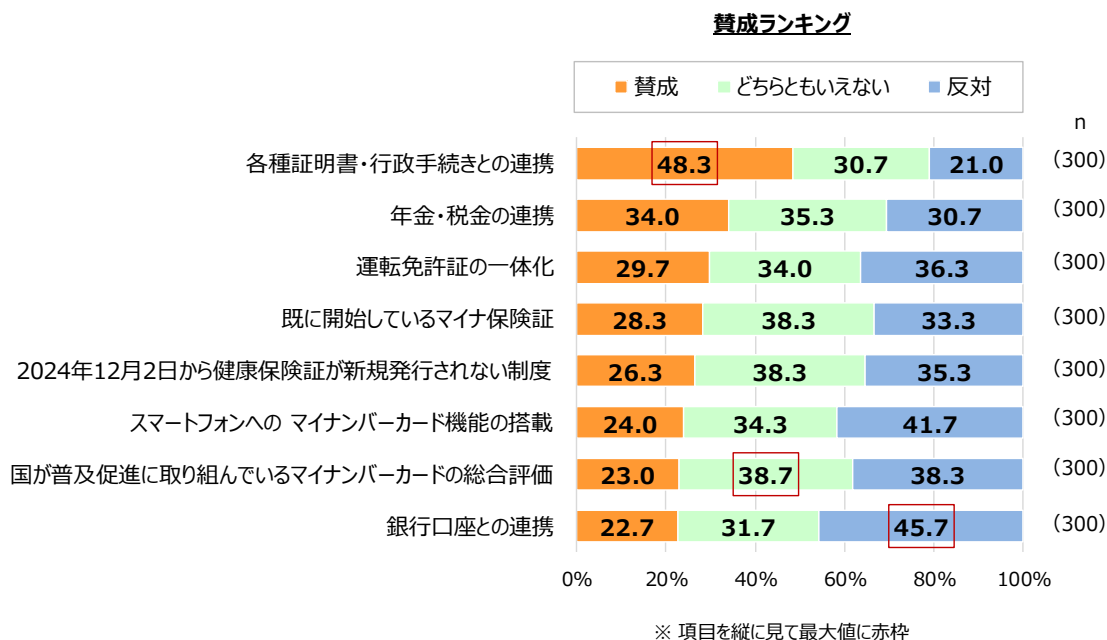
マイナンバーカードは、くらしの様々な手続きや健康・医療分野などでより便利になる一方、一般市民の活用の低さが目立つというのも現状です。マイナンバーカードの在り方・活用の賛否を知る目的として「マイナンバーカードに関するアンケート」を調査しました。

賛成は「各種証明書・行政手続きとの連携」、反対は「銀行口座との連携」が最多！

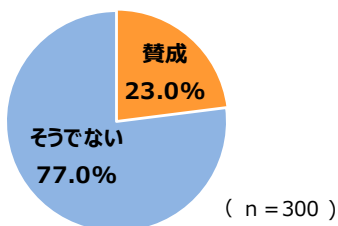
国が普及促進に取り組んでいるマイナンバーカードの在り方について賛否を聞いた。
賛成で最も多かったのは「各種証明書・行政手続きとの連携」の48.3%、次に「年金・税金の連携」の34.0%、「運転免許証の一体化」の29.7%と続いた。いずれも半数を下回った。

反対で最も多かったのは「銀行口座との連携」の45.7%、次に「スマートフォンへの マイナンバーカード機能の搭載」の41.7%、「国が普及促進に取り組んでいるマイナンバーカードの総合評価」の38.3%と続いた。

Q1. 現状・未来のマイナンバーカードの在り方について、どう思いますか。
各内容について、制度化の有無に関わらずお答えください。（回答は1つ）



国が普及促進に取り組んでいる
マイナンバーカードの総合評価



← 国が普及促進に取り組んでいるマイナンバーカードの総合評価に着目すると、「賛成」は23.0%、「そうでない」は77.0%で、圧倒的に「賛成」が低い結果であった。

(横%表)

		各種証明書・行政手続きとの連携			n
		賛成	どちらとも いえない	反対	
全体		48.3	30.7	21.0	300
年代	20代	40.0	46.7	13.3	60
	30代	55.0	26.7	18.3	60
	40代	51.7	28.3	20.0	60
	50代	45.0	21.7	33.3	60
	60代	50.0	30.0	20.0	60
性別	男性	50.0	28.0	22.0	150
	女性	46.7	33.3	20.0	150

各項目を縦に見て最大値に彩色

(横%表)

		年金・税金の連携			n
		賛成	どちらとも いえない	反対	
全体		34.0	35.3	30.7	300
年代	20代	28.3	51.7	20.0	60
	30代	45.0	28.3	26.7	60
	40代	33.3	35.0	31.7	60
	50代	31.7	21.7	46.7	60
	60代	31.7	40.0	28.3	60
性別	男性	37.3	34.0	28.7	150
	女性	30.7	36.7	32.7	150

各項目を縦に見て最大値に彩色

(横%表)

		運転免許証の一体化			n
		賛成	どちらとも いえない	反対	
全体		29.7	34.0	36.3	300
年代	20代	30.0	45.0	25.0	60
	30代	33.3	35.0	31.7	60
	40代	26.7	31.7	41.7	60
	50代	26.7	26.7	46.7	60
	60代	31.7	31.7	36.7	60
性別	男性	38.0	32.0	30.0	150
	女性	21.3	36.0	42.7	150

各項目を縦に見て最大値に彩色

(横%表)

		既に開始しているマイナ保険証			n
		賛成	どちらとも いえない	反対	
全体		28.3	38.3	33.3	300
年代	20代	30.0	43.3	26.7	60
	30代	33.3	40.0	26.7	60
	40代	36.7	36.7	26.7	60
	50代	18.3	33.3	48.3	60
	60代	23.3	38.3	38.3	60
性別	男性	34.7	35.3	30.0	150
	女性	22.0	41.3	36.7	150

各項目を縦に見て最大値に彩色

(横%表)

		2024年12月2日から健康保険証が新規発行されない制度			n
		賛成	どちらとも いえない	反対	
全体		26.3	38.3	35.3	300
年代	20代	25.0	53.3	21.7	60
	30代	38.3	33.3	28.3	60
	40代	30.0	33.3	36.7	60
	50代	8.3	40.0	51.7	60
	60代	30.0	31.7	38.3	60
性別	男性	28.0	38.0	34.0	150
	女性	24.7	38.7	36.7	150

各項目を縦に見て最大値に彩色

(横%表)

		スマートフォンへの マイナンバーカード機能の搭載			n
		賛成	どちらとも いえない	反対	
全体		24.0	34.3	41.7	300
年代	20代	25.0	48.3	26.7	60
	30代	36.7	28.3	35.0	60
	40代	18.3	40.0	41.7	60
	50代	16.7	25.0	58.3	60
	60代	23.3	30.0	46.7	60
性別	男性	30.0	37.3	32.7	150
	女性	18.0	31.3	50.7	150

各項目を縦に見て最大値に彩色

(横%表)

		国が普及促進に取り組んでいるマイナンバーカードの総合評価			n
		賛成	どちらとも いえない	反対	
全体		23.0	38.7	38.3	300
年代	20代	25.0	51.7	23.3	60
	30代	40.0	26.7	33.3	60
	40代	21.7	43.3	35.0	60
	50代	10.0	36.7	53.3	60
	60代	18.3	35.0	46.7	60
性別	男性	27.3	38.0	34.7	150
	女性	18.7	39.3	42.0	150

各項目を縦に見て最大値に彩色

(横%表)

		銀行口座との連携			n
		賛成	どちらとも いえない	反対	
全体		22.7	31.7	45.7	300
年代	20代	21.7	51.7	26.7	60
	30代	36.7	26.7	36.7	60
	40代	20.0	28.3	51.7	60
	50代	16.7	21.7	61.7	60
	60代	18.3	30.0	51.7	60
性別	男性	28.7	28.7	42.7	150
	女性	16.7	34.7	48.7	150

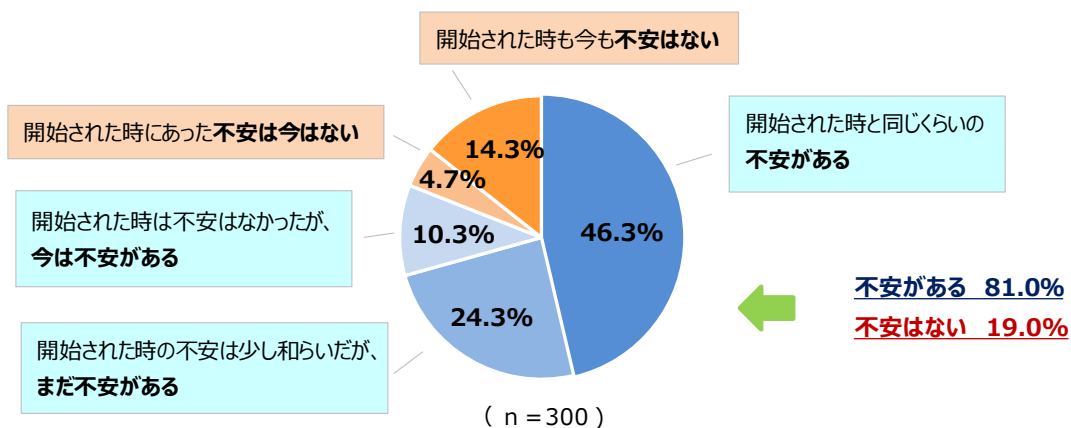
各項目を縦に見て最大値に彩色

年代別でみると
ほとんどの内容で
「30代」ほど賛成が多い。
「50代」ほど反対が多い。

マイナンバーカードに関する不安について、開始された時と同じくらい不安がある人は5割！

マイナンバーカードに関する不安（個人情報の漏洩など）について、開始された当時と現在を比べ、どのように感じるかを聞いたところ、「開始された時と同じくらい不安がある」が46.3%で最も多く、次に「開始された時の不安は少し和らいだが、まだ不安がある」の24.3%と続いた。一方、「開始された時にあった不安は今はない」を回答した人は4.7%にとどまった。この回答から不安有無別に分類すると、現在「不安がある人」は8割いることが明らかとなった。

【Q2】 マイナンバーカードに関する不安（個人情報の漏洩など）について、開始された当時と現在を比べ、あなたはどのように感じるかお知らせください。（回答は1つ）



(横%表)

		【 開始された当時と現在の比較 】 マイナンバーカードに関する不安					n
		開始された時と同じくらい不安がある	開始された時の不安は少し和らいだが、まだ不安がある	開始された時は不安はなかったが、今は不安がある	開始された時にあった不安は、今はない	開始された時も今も不安はない	
全体		46.3	24.3	10.3	4.7	14.3	300
年代	20代	25.0	21.7	21.7	6.7	25.0	60
	30代	40.0	30.0	11.7	3.3	15.0	60
	40代	50.0	26.7	3.3	6.7	13.3	60
	50代	63.3	16.7	10.0	3.3	6.7	60
	60代	53.3	26.7	5.0	3.3	11.7	60
性別	男性	40.0	24.7	10.0	5.3	20.0	150
	女性	52.7	24.0	10.7	4.0	8.7	150

表側項目内を縦に見て最大に彩色

サマリーレポートはこちらを参照ください。

<https://istat.co.jp/investigation/2024/08/result>

統計分析研究所 株式会社アイスタットについて

【株式会社アイスタット（統計分析研究所）会社概要】

◇所在地 〒166-0011 東京都杉並区梅里1-22-26 パラドール東高円寺3F（旧YTビル）

◇設立 2011年6月2日

◇代表者 代表取締役社長 志賀 保夫 / 代表取締役会長 菅 民郎

◇事業内容 株式会社アイスタット(統計分析研究所)は、統計学 を礎とした情報サービス業 に従事しています。

◆本調査・弊社事業などに関するお問合せ先◆

統計分析研究所 株式会社アイスタット <https://istat.co.jp/>

総務部 橋本 有子 (somu@istat.jp) TEL: 03-3315-7637/FAX: 03-3315-7660

サービスのご案内

株式会社アイスタット(統計分析研究所)は、統計学 を礎とした情報サービス業 に従事しています。「わかりやすい統計学」をモットーに、8つのコア・サービスをみなさまにご提供いたします。

